

TMAX M

コンプリート車両本体価格●124万2000円(SX ABS)、
135万円(DX ABS)

外観不変で加速は一変

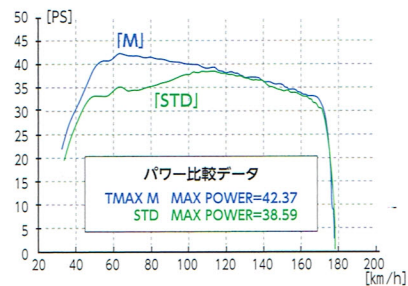


●コンプリート車のスペックを体感できるのは「Sモード」だが、通常は「Tモード」にすることにより穏やかでエコな走りが味わえる



まさしく “羊の皮を被った狼”

●STDのままのマフラーを含め、外観は至ってノーマル。しかし、スロットルを全開にすれば速度計の表示が間に合わないほどの凄まじい加速を見せ、大排気量スクーターらしさを堪能できる。街乗りから峠走り、ロングツーリングまでこなせる万能選手だ



段違いのパワーを路面へ伝える

●駆動系のセッティングを変更することにより、スタンダード車を圧倒する中速域のパワーの立ち上がりを具現化。扱いやすくパワフルな加速が体感できる

【取材協力】YSP大阪箕面



●RC甲子園のコンプリート車を取り扱うYSP大阪箕面では、今回の取材車両2台をレンタルバイクとして用意。借りてタップリ味わしてほしい

大阪府箕面市今宮3丁目2-5
☎072-726-5310
<http://www.yosposakaminoo.com>

●RC甲子園コンプリートモデル取扱店
YSP仙台、YSP八王子、YSP八王子福生東店、YSP成増、YSP川崎中央、YSP横浜南、YSP名古屋西、YSP豊橋南、YSP滋賀、YSP大阪箕面、YSP大阪東、YSP大阪箕面甲子園店、YSP神戸中央、YSP香川

ンドを奏でる政府認証マフラーの存在感も高く、大人のシティコミューターとして完成の域に達している。さらに今回、同じくRC甲子園によってチューニングされたコンプリート車「TMAX M」にも試乗する機会に恵まれた。まずは外観だが「M」のステッカーが貼られただけで見た目は全くのスタンダード。こちらもちューニング内容は非公認となっているが、XMAX Rと同様に駆動系がリファインされ、実走行で多用する中速域の駆動力が大幅に底上げされている。マイルドでエコノミーな設定の「Tモード」だと違いは分かりにくいだが、ひとたび「Sモード」に切り替えれば、性能は一変！全開時にはスタンダードより格段に高い回転域をキープしたまま、みるみるうちにスピードが高まっていき、大排気量に見合うポテンシャルを体感させてくれた。TMAXの車格ともなればリッタースポーツに混ざってツーリングするユーザーも多いだろうが、高速道路の合流などで加速性能の差を痛感することもあったはず。このTMAX Mならば、まさにそのような110km/hまでの領域でSTDを大きく上回り、胸のすく加速を發揮できるのだ。

驚くべきはコンプリート車両価格で、これだけの性能向上を果たしながらメーカー希望小売価格は標準車と同一！選ばない理由を見付けるとは、かなり困難と言えそうだ。